(課題名)

パーキンソン病のリハビリテーションにおけるオンライン診療の 有用性と課題

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

パーキンソン病の在宅リハビリテーションにオンライン診療を実施した患者さんにおける有用性と課題を検討します。

【対象】

オンライン診療にてリハビリテーションを実施しているパーキンソン病・パーキンソン症候群患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

PD (パーキンソン病) の在宅リハビリテーションにオンライン診療を実施した患者さんにおける有用性と課題を検討することを目的とし、カルテ情報およびリハビリ日記から氏名等の個人情報を削り、ID などに置き換え他の情報と照合しないと対象者と識別できないようにします。

【調査項目】

- 1) リハビリ日誌によるリハ実施状況の確認
- 2) 身体機能の改善度：歩行速度・姿勢・持久力
- 3) 厚生労働省「オンライン診療の適切な実施指針」準拠の評価項目
 - A) 患者の日常生活の情報も得ることによる医療の質のさらなる向上
 - (ア) リハビリ効果：身体機能 (FIM 等)、日常生活活動度、QOL(生活の質) スケール
 - (イ) 重症化イベント (転倒など)
 - B) 医療を必要とする患者の医療に対するアクセシビリティ確保
 - (ア) 安心感 (在宅リハの視覚的共有)

- (イ) 直接会話の満足度・リハビリ動作確認
- (ウ) 視覚情報の鮮明度・撮影範囲の的確さ
- C) 患者が治療に能動的に参画することによる、治療効果の最大化
- (ア) リハビリへの意欲
- (イ) 自主訓練の実施回数
- 4) オンラインリハ実施上の患者側・スタッフにおける負担感(5段階スコア)
- (ア) 通信のための準備の煩雑さ
- (イ) 日程・時間調整のためのスケジュール管理
- (ウ) 家の中の撮影の抵抗感

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2020年6月22日 ～ 2025年3月31日

【利用する者の範囲】

関西労災病院 脳神経内科 寺崎泰和、野崎園子

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 脳神経内科 野崎園子

【研究期間】

実施許可日から 2025年3月31日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

寺崎泰和

関西労災病院 脳神経内科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail: terasaki-yasukazu@kansaih.johas.go.jp